

東照宮へ、ロマネスク日光街道⑨2日目 石橋宿～雀宮宿

日時：2023年10月15日（日） 天候：雨 歩数：14000歩 距離：9km

集合：石橋ビジネスホテル 9時

コース：石橋ビジネスホテル→鞆堂地藏尊→星野宮神社→茂原正観音道→大谷石の土蔵→茂原なかよし公園
茂原観音堂→高尾神社→正光寺→雀宮宿本陣跡→雀宮宿仮本陣芦谷家→雀宮駅

参加者：熊坂L 奥村SL 勅使河原 高橋文 奈良 清水 市村 高橋友

8人

「東照宮へ、ロマネスク日光街道」⑨2日目、朝目覚めてホテルの窓から外を眺めると気象情報とおりの雨。朝風呂に入り朝食を済ませて部屋に戻り、テレビのスイッチを入れると「マラソングランドチャンピオンシップパリ五輪マラソン代表選考レース」の映像が映し出されました。男子は8時にスタート、国立競技場のグラウンドを周回して東京の街へ走り出しました。「さあ私たちも雨の中のウォーキングを楽しもう」と思いながらウォーキングの準備をしました。

この日のウォーキングは、ホテルをスタートして鞆堂地藏尊を見学。日本橋から9.6km地点を通過、日光街道を外れて茂原正観音道へ入り、茂原観音堂から稲が刈られた田園風景の中を歩きました。日光街道へ戻り、日本橋から9.9km地点を通過して雀宮宿仮本陣芦谷家、雀宮駅までのコースでした。雨の中の田園風景の広がるウォーキング、「いにしへの日光街道も宿場を外れるとこのような景色が広がっていたのでは」と思いながら歩きました。思い出に残る雨の「日光街道⑨2日目」ウォーキングでした。



石橋ビジネスホテル 9時～鞘堂地蔵尊～星野宮神社～ドラッグストア

レインウェアに身を包みホテル玄関前で集合写真、雨にもかかわらずみなさん笑顔で応えてくれました。9時にスタート、熊坂リーダーを先頭に日光街道（国道4号）を北上。鞘堂地蔵尊へ、「鞘堂地蔵尊の由来」が書かれていました。南北朝時代にここから東側の裳原（茂原）で下野の両雄である宇都宮基綱と小山義政が戦い地蔵院も消失。村人が戦死者の散乱した刀の鞘を埋めて小さなお堂を作り、その中に石仏の地蔵尊を安置しました。お堂には12支の絵馬が掲げられていました。ひっそりとした星野宮神社へ立ち寄り、日本橋から96kmの標識を通過。右手を東北新幹線の列車が走り去りました。ドラッグストアの軒下で水分補給。



茂原正観音道～大谷石の土蔵や塀～茂原なかよし公園～茂原観音堂

雨は相変わらず降り続けています。ドラッグストアを出て少し進むと、右手に「茂原正観音道」と刻まれた道標が出てきました。ここから街道を外れて東へ進み、茂原観音をめざします。広大な農地を囲むように住宅が広がっています。東北本線の下を通過して反対側へ、大谷石の土蔵や塀が続きます。茂原なかよし公園の東屋で水分補給の小休憩、道端のカラスウリの実が鮮やかでした。広大な田畑が広がり始め、送電線が張り巡らされていました。観音通りに入って35分、下野三十三観音霊場の第二十番札所茂原観音堂に到着しました。宇都宮氏の家臣・裳原家次が枕元に立った聖観音像を彫って祀ったのが始まりと伝えられています。



田園風景の広がるあぜ道を北へ～高尾神社～農道を西へ～長島踏切

茂原観音堂を出て、田園風景の広がるあぜ道を北へ進みます。稲が刈られた稻田の緑、空の青と送電線に鉄塔、歩いているのは私たちだけ。赤とんぼもバッタも見えませんが、カラフルなレインウエアと雨傘、雨のウォーキングもなかなか趣きがあり、この日一番のベストショット。10時45分、高尾神社へ到着。本殿の軒下で雨宿りをして小休憩。高尾神社を出て今度はアスファルト道の農道を西へ進みます。奥村さんが「オクラよ」と教えてくれたので、よく見ると確かにオクラ、オクラ畑を始めてみました。オクラがこんなに背丈が高いとは思いませんでした。東北本線の長島踏切へ、踏切の向こうには住宅が見られます。



正光寺～雀宮宿本陣跡～雀宮宿仮本陣芦谷家～雀宮駅 1万4000歩 9km

日光街道（国道4号）に出てコンビニエンスストアで小休憩。石橋ビジネスホテルの「手前3km」の看板が出ていました。大分歩きましたが街道としては3kmの前進でした。日本橋から99km地点を通過。街道を少し左に入り正光寺へ、鐘楼の前で集合写真を一枚。街道に戻って少し進むと。見落としてしまいそうな雀宮宿本陣跡の標柱を見つけました。雀宮駅前交差点へ、雀宮宿仮本陣芦谷家がありました。説明板に「雀宮宿には本陣や脇本陣の他に仮本陣があった」と書かれていました。門のところで集合写真を撮影。12時5分、この日のゴールの雀宮駅に到着。1万4000歩、9km、雨のウォーキングでした。駅前の居酒屋で昼食ランチ懇親会を開きました。



(いちむら記)